

NEWS RELEASE



平成 24 年 9 月

第 35 回日本高血圧学会総会研究発表

「鰹節由来降圧ペプチドの単離精製とその評価」

ヤマキ株式会社（本社：愛媛県伊予市 代表取締役社長：城戸善浩）は、鰹節屋・だし屋として、鰹節の「おいしさ」と「健康」を追求するための研究を行っております。

平成 24 年 9 月 20 日～22 日愛知県名古屋市でおこなわれた第 35 回日本高血圧学会総会において、下記の通り研究発表いたしました。

記

■研究発表概要

演題名：鰹節由来降圧ペプチドの単離精製とその評価

発表者：関英治（ヤマキ株式会社）

発表日：9 月 20 日（木） 午後 12:40～13:05

■研究内容の概要

当社は、高血圧予防啓発のための活動である「減塩プロジェクト：NPO 法人日本高血圧協会」に賛同し、減塩食の提案を行う一方で、特定保健用食品（消費者庁許可制度）基準に合致する高血圧予防特定保健用食品の開発も行っています。

前回の研究発表において、鰹節熱水抽出残渣から酵素分解、疎水性樹脂脱着後、限外ろ過（分子量 1000）透過画分に、強力な降圧ペプチド（KBP）が得られることを発表いたしました。一般的にペプチド分析に関しては煩雑であり、数回のカラム操作が必要であることから、規格化し、品質分析するまでに時間を要していました。今回の研究では、ペプチドの簡易定量方法を確立し、さらに新たなペプチドを単離することを目的としています。

実験方法として、得られた各ペプチドのアミノ酸配列は N 末端アミノ酸配列解析装置で決定し、ACE（アンジオテンシン I 変換酵素）阻害活性の測定は Cushman の変法を用いました。

その結果、新たに高活性なペプチド 5 種類を、一回の液体クロマトグラフィー操作で単離し、同定と定量する方法を確立しました。このことから、降圧ペプチド（KBP）の中の単離した ACE（アンジオテンシン I 変換酵素）阻害ペプチドが簡易定量でき、降圧ペプチド（KBP）を用いた高血圧予防食品の構築ができると判断いたしました。

## 【日本高血圧学会 概要】

日本高血圧学会は、高血圧を中心とする研究、啓蒙活動、学術集会の開催、ガイドライン策定、特別正会員(FJSH)育成等を通じて、国民の健康増進を図る特定非営利活動法人です。

運 営：特定非営利活動法人 日本高血圧学会事務局

所在地：東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 2 階

T E L：03-6801-9786 FAX：03-6801-9787

理事長：島田 和幸

設 立：1978 年 4 月

U R L：<http://www.jpnsn.org/>

## 【ヤマキ株式会社 概要】

会社名：ヤマキ株式会社

住 所：愛媛県伊予市小湊 1698-6

代表取締役社長：城戸善浩

設 立：大正 6 年 4 月

U R L：<http://www.yamaki.co.jp/>